

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通調査事業等)

(別紙2)

平成25年5月 日

協議会・構成員 中井町地域公共交通会議

自治会連合会長、境地区バス利用対策委員長、神奈川運輸支局

県交通企画課、県西土木事務所、松田警察署、東洋大学国際地域学部教授

(社)神奈川県バス協会、神奈川中央交通(株)、(社)神奈川県タクシー協会

神奈川県交通運輸産業労働組合協議会ほか12名

事業名	調査事業の結果概要	調査事業実施の適切性	生活交通ネットワーク計画等の計画策定に向けた方針
記載要領	【事業内容及び結果概要を記載】	A ・ B ・ C 評価	【生活交通ネットワーク計画等の計画策定に向けた方針(補助申請を行う補助対象事業名、事業内容、実施時期等を記載)】
中井町地域内公共交通体系再編計画業務	将来に向けた中井町全体における公共交通の基本的な方針と目標、目標を達成するために行う事業等を明確にした中井町地域公共交通総合連携計画を策定し、連携計画の一部として生活交通ネットワーク計画を作成した。 中井町オンデマンドバス実証運行を行った結果、利用登録者は1,515名(平成25年3月末)と、町の総人口に対して15.6%にまで達したものの、1日当たり平均利用者は10.6人/日と、想定していた利用見込みより少ない結果となり、運行エリアや乗降場所の拡大、予約受付・予約期限の見直し、運行日・運行時間帯の見直し等が課題であることがわかった。	A ・計画期間内における実証運行を予定どおり実施した ・中井町地域公共交通総合連携計画を策定し、だれもが移動しやすい持続可能な交通体系整備に向けた検討を行うことができた ・地域内フィーダー系統確保維持事業に向けネットワーク計画策定に向け必要な調査ができた	公共交通空白地域の解消だけでなく、町全体の魅力を高め、定住・交流を促進するまちづくりのツールとして平成25年1月10日から実証運行を開始した中井町オンデマンドバス(愛称:中井ふれあいバス)について、地域の需要に合致した運行サービスの見直し・改善(運行エリアや乗降ポイント、予約方法等)を重ね、持続可能な地域公共交通システムとなるよう見直しを行う。

【各評価項目の評価基準】

事業実施の適切性

- A…事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された(されている)。
- B…事業が計画に位置づけられたとおりに実施されていない点があった(一部実施されない見込み)。
- C…事業が計画に位置づけられたとおりに実施されなかった(実施されない見込み)。